



研究テーマ

かないわ香箱がにブランド化に伴う
ロゴマーク&ポスターの制作

目的・概要

金沢市金石港で水揚げされる北陸の冬の味覚を代表する「香箱がに」のブランド化に向け、ロゴマーク及びポスターの制作依頼が、金沢海産物ブランド推進協議会よりあった。本プロジェクトには視覚デザイン専攻4年生3名が参加、プレゼンテーションを重ね、ブラッシュアップ、最終デザインに至った。雌である「香箱がに」を優しく表現したデザインは新たな販売層の開拓にもつながると大いに期待されている。

委託者

金沢海産物ブランド化推進協議会

期間

2010年7月5日～2011年3月31日

担当教員

デザイン科 視覚デザイン専攻 工藤 俊之 教授

参加学生

デザイン科・視覚デザイン専攻4年 熊走明子
デザイン科・視覚デザイン専攻4年 南山直人
デザイン科・視覚デザイン専攻4年 吉岡 直

Process

2010.08.04

第1回プレゼンテーション
参加学生3名、それぞれ7～2案
(計12案)のロゴマークの提案。
(金石漁協会議室)



2010.08.26

第2回プレゼンテーション
委託者が選定したロゴマークの
ポスターへの展開提案。
(金石漁協会議室)



2010.09.02

最終案検討会
委託者の要望を取り入れ最終案
(レイアウト、色、背景等)の検討
検討会を行う。
(金沢美術工芸大学・企画情報室)



2010.10.08

発表会
ポスターの発表会と試食会に参
加、連携成果の確認をする。
(金沢市金石・福寿司)



最終案

最終案検討会の結果を基にブラッシュアップし、最終デザインデータ完成。

シンボルマーク



ロゴタイプ

かないわ香箱
こうぼこ

完成ポスター



Concept

「香箱がに」はメスであるということ意識して、かわいイラストの背中に卵を表す花を加えて表現。ロゴは、「金石」を「かないわ」と表記し、美味しさ・親しみやすさを感じさせる書体とし、ロゴマークとした。ポスターはロゴマークをメインとして、背景は冬を意識した薄い青色とし、金沢をイメージする兼六園の雪吊りと冬の花で構成した。